

第2回 愛南町
海業推進会議

令和5年9月20日

～第1回会合以降の取組～





第1回海業推進会議以降の取組（イベント）

■ 中四国農政局食育セミナー“子どもを育む海業の未来”（令和5年8月5日実施）

開催場所：うみらいく愛南

会場参加者：4組8名

オンライン参加者：21名

夏休み期間中の子どもたちとその保護者等を対象として、海業（うみぎょう）の一つであるぎょしょく教育を次のとおり、中四国農政局の主催により実施しました。

- 1 アプリによる3枚おろしミニゲーム大会
- 2 実物の真鯛の3枚おろしに挑戦
- 3 鯛カツバーガーに調理して試食



子どもの魚離れを抑制して、家庭内調理の機会を増やしていくため、魚のおろし方や調理を体験できる機会を、アプリケーションやオンラインライブ配信等のデジタル技術を活用しました。また、このイベントは、見逃し配信として動画が公開される予定（9月中旬）で、イベント実施後も新たな参加者を増やすことが可能な仕組みになっています。



第1回海業推進会議以降の取組（イベント）

■ 松山大学愛南マダイ応援隊フィールドワーク（令和5年8月17, 18日実施）

開催場所：愛南町

参加者：松山大学 学生18名、檀 裕也教授

《愛南マダイ応援隊とは》

新型コロナウイルス感染症の影響で飲食店向けの消費が落ち込んだ「マダイ」を中心に、愛南町の魅力発信、水産物消費拡大および販売促進に取り組んでいる松山大学の学生団体



《フィールドワーク概要》

- ・ 愛南町の魅力に触れるとともに、養殖業者及び加工業者などの現地を見学
- ・ 取材、撮影した写真や動画は、各種SNS等で情報発信を行い、愛南町の魅力発信及び販売促進として活用



《現地視察及び体験場所》

- ・ うみらいく愛南
- ・ 西海観光船
- ・ 鹿島
- ・ 愛南漁協
- ・ 安高水産
- ・ 大西水産
- ・ 愛媛大学南予水産研究センター
- ・ サンフィッシュ
- ・ 市場食堂
- ・ シーボーンアート体験



第1回海業推進会議以降の取組（イベント）

■ 松山市 さくら児童クラブぎょしょく出前授業（令和5年8月23日実施）

開催場所：松山市立さくら小学校

主催：さくら児童クラブ

参加者：小学生2、3、5年生 総勢85名

《授業内容》 4つグループに分かれ、それぞれ体験

- ・ 一本釣り体験…実際の釣り竿を使用し、1.4kgのかつおぬいぐるみを釣る体験
- ・ 触る魚…愛南町で水揚げされた生の魚を触る体験
- ・ 捌く魚…丸魚から切り身に捌いていく過程を学ぶ体験
- ・ 魚の話…クイズを交えながら、かつおやマダイを中心とした魚の話
- ・ 鯛カツバーガー…児童クラブのスタッフに調理してもらった鯛カツや野菜等を挟んで喫食

《子どもたちの感想》

- ・ 漁師さんは簡単に釣っているけど、難しかった。
- ・ 鯛カツがふんわりサクサクでおいしい。今度自分でも作りたい。
- ・ 魚は苦手だけど、鯛カツバーガーはすごくおいしかった。





第1回海業推進会議以降の取組（意見交換）

■ 県立南宇和高等学校 地域振興研究部との意見交換（令和5年8月10日実施）

開催場所：南宇和高校農業科情報処理室

参加者：南高地域振興研究部3名、秋山顧問
愛南町水産課 濱、浜辺、本田、中村

《愛南町の好きなところ》

- ・ 食べ物が美味しい。海や山が近くて鮮度が良い
- ・ 人が優しい。余所者を受け入れてくれる気質
- ・ 自然が豊か。夕日がきれい
- ・ 自慢できるところが多い

《愛南町の嫌なところ》

- ・ 交通が不便、移動に時間がかかる、虫が多い
- ・ 買い物のバリエーションが少ない
- ・ 特に高齢者の諦めムード
- ・ 気軽に行ける遊び場が少ない

《将来やりたいこと》

- ・ 飲食系の仕事に就いて、愛南町を推していきたい
- ・ 保育士になって、地域と繋がったぎょしょく教育をやってみたい
- ・ 女性リーダーになる。地域経済を勉強して、愛南町に関わりたい





第1回海業推進会議以降の取組（意見交換）

■ 令和5年度第5回南水研セミナー（令和5年9月4日実施）

開催場所：南予水産研究センター 船越ステーション
テーマ：「漁業・水産業から海業“UMIGYO”へ」
参加者：愛媛大学 学生17名、教職員6名



《愛南町で生活して感じたこと》

- ・自然で遊ぶことが当たり前（海水浴、釣り等）
- ・人と人との距離が近い
- ・魚は多いが食べ方が少ない（刺身ばかり）
- ・交通標識や看板が少なく、初めて訪れた人には不親切
- ・愛南で養殖された魚が地元で食べられない（スーパーに無い）
- ・景色は良いのに注目されていない

《これからの愛南町の海業への提案》

- ・遊びを絡めて子供たちへ海、魚を知るきっかけづくり
- ・衣、食、住に着目して愛南町を知ってもらう
- ・愛南のことを浅く広く知ってもらい興味を持たせていく
- ・サンパールを魚と泳げるプールに

[気づき]地方の海業事例のうち2/3以上は愛南町で実施している
→愛南町は全国的に見てもポテンシャルが高い！

愛媛大学
南予水産研究センター
South Shikoku Fisheries Education Research Center

令和5年度
第5回
南水研セミナー

開催日時・会場
2023年
9月4日（月）13:00～
南予水産研究センター
船越ステーション 2F会議室
(船越1289-1)

漁業・水産業から
海業"UMIGYO"へ

愛南町水産課海業推進室 室長
浜辺 隆博 氏



第1回海業推進会議以降の取組（広報・取材対応）

■ 愛南町SDGs水産環境未来都市戦略の取組紹介（取材日：令和5年7月31日）

オンライン形式：愛南町役場
ケイティケイ株式会社(愛知県)
対応者：愛南町海業推進室 浜辺、清水

《経緯》

- ・SDGs達成に取り組む企業や自治体、学校を紹介するEARTH NOTEというウェブサイトを経営するケイティケイ株式会社からの取材依頼があったもの。



《記事の目次（愛南町の取組紹介）》

「愛南町のSDGsは海業で海の環境と美しい町を守ること」

- 1 愛南町は水産業が盛んで、豊かな自然を活かしたスポットやレジャーも豊富
- 2 愛南町は海業で海の環境と愛南町の未来を考えた取り組みをしている
- 3 サステイナブルな取り組みで愛南町と海の環境の未来を創っていく
- 4 愛南町は次の世代と共に町と自然を守っていく

《期待される効果》

- ・SDGs関連の情報サイトに掲載されることで、海業や愛南町のSDGsに対する関心を高めていただけることが期待されます。





第1回海業推進会議以降の取組（広報・取材対応）

■ ふるさと応援TV「えひめのミカタ」（愛媛朝日テレビ、取材日：令和5年8月28日）

取材場所：だんだん館（外泊）

出演者：清水町長、川崎アナウンサー

《概要》

- ・毎週水曜日20:54～愛媛朝日テレビで放送されるふるさと応援TV「えひめのミカタ」に清水町長が出演して、海業や愛南町の海の魅力について説明します。

《放送予定（番組全体3分、対談部1分30秒）》

- ・第1回【2023年9月20日 20時54分～】
- ・第2回【2023年9月27日 20時54分～】

《インタビューの内容》

- ・だんだん館がある外泊地区は「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選」にも選ばれた貴重な石垣文化が残る景観を有しています。前面の湾内ではダイビング業や養殖業等が営まれており、海や漁村の魅力と価値を活用した海業をPRします。
- ・また、海業推進会議の中で海の魅力を更に活用していく方策について話し合っていることを紹介します。





第1回海業推進会議以降の取組（広報・取材対応）

■ SNSの開設（令和5年〇月〇日～）